

富山大学学術研究部社会科学系（経済学部）

マーケティング論 教員公募

1. 部局名 学術研究部社会科学系
2. 職名および人員 教授または准教授 1 名
(任期：教授 10 年（再任可）、准教授 7 年（再任可）)
3. 専門分野 マーケティング論

【学部担当授業科目】

- ・ 専門授業科目
マーケティング・マネジメント論 - A・B
商学総論
経営学入門（オムニバス形式）など
- ・ゼミナール科目
- ・教養教育科目
市場と企業の関係

【大学院担当授業科目】

- ・ 専門授業科目
マーケティング特論Ⅰ・Ⅱ
マーケティング演習Ⅰ・Ⅱ
課題研究 など

※この他、関連する科目をご担当いただく場合があります。

4. 応募資格
- ①博士または Ph.D.の学位を有する方（採用時に博士または Ph.D.の学位を有する予定の方を含む）。
 - ②大学等高等教育機関における教育・研究歴又は民間企業等における業務歴が、教授の場合 7 年以上、准教授の場合 5 年以上あること。
 - ③大学院修士課程における教育・研究指導が担当できること
 - ④科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること
 - ⑤全学の数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに積極的に寄与できること。
 - ⑥地域貢献活動等、全学的活動に積極的に寄与できる事。
 - ⑦日本語での授業が可能な方。英語での授業が可能であると望ましい。
 - ⑧入試の作問、点検等に寄与できること。
 - ⑨教養教育に貢献できること。

⑩外国人留学生の教育に熱意がある方。

5. 採用年月日 令和8年4月1日以降のできるだけ早い日
6. 応募締切日 令和7年11月17日(月) 17時必着
※応募状況によっては、応募締切日を延長する場合があります。
7. 応募書類
- ①履歴書(所定様式。写真貼付、学会等の活動について記載すること。また入試委員の経験の有無についても記載すること)
 - ②著書、論文等の別刷り(コピー可)。提出のない研究業績は審査しません。公刊予定の研究業績については、編集者等による原稿提出済み証明書(様式自由)を付すこと。証明書のない研究業績は審査しません。
 - ③研究業績目録(記入例あり。「学術論文・査読付」、「学術論文・査読無」の順にすべての研究業績を記載し、各業績について400字程度の要旨を付け、また、主要業績3点について、タイトルの冒頭に○印を付すこと。原著論文について、応募者が「責任著者」である場合は、氏名の右に「(*責任著者)」と記載すること)
 - ④外部資金獲得状況一覧(科研費と科研費以外に分け、所定の様式に過去10年間の実績を記載し提出すること。実績がない場合はその旨記載し提出すること)
 - ⑤教育実績書(様式自由。実績のある方のみ)
 - ⑥最終学校の修了(見込)証明書、単位取得(見込)証明書または卒業証明書
8. 選考方法 応募書類による審査および面接
(面接は、非対面形式により実施する可能性があります)
9. 応募先 〒930-8555 富山市五福3190 経済学部事務室
国立大学法人富山大学学術研究部社会科学系長(経済学部長)
※ 封筒の表に「マーケティング論教員応募書類在中」と朱書きの上、書留郵便とすること。応募書類は原則として返却しません。
10. 問い合わせ先
- ①公募について
国立大学法人富山大学人社系総務課(経済学部事務室)
TEL 076-445-6401 E-mail ecosoumu@adm.u-toyama.ac.jp
 - ②給与等について
国立大学法人富山大学総務部人事課

TEL 076-445-6524

※ 問い合わせに際しては、「マーケティング論」に関する旨を
明らかにしてください。

11. 備考

- ①提出書類の追加送付は原則として認めません。
- ②面接に要する経費（旅費、宿泊費、通信費等）は支給しません。
- ③提出いただいた書類に含まれる個人情報 は、選考および採用以外の目的には使用いたしません。
- ④国立大学法人富山大学職員就業規則により定年は 65 歳です。
- ⑤国立大学法人富山大学では、年俸制（退職時に退職手当を支給する年俸制）を導入しており、本公募による採用者も年俸制を適用します。

○富山大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう、教育・研究活動と生活の両立支援、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。

男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下 URL をご覧下さい。

〔ダイバーシティ推進センター〕 <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

〔富山大学ダイバーシティ推進宣言〕

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>

○若手研究者の積極的な応募を歓迎します。